





# 東かがわさんの 家庭の事情

平成31年度

貯金を引き出す 145万円/年  
(14億5,200万円)

貯金する 1万円/年  
(1,600万円)



クレジットカードで買い物 374万円/年  
(37億4,000万円)

ローン返済 192万円/年  
(19億2,400万円)



子どもへの仕送り 211万円/年  
(21億1,700万円)



教育医療費 209万円/年  
(20億9,900万円)



給料 318万円/年  
(31億8,100万円)

パート収入 104万円/年  
(10億4,000万円)

1年の使用総額 1,857万円/年  
(一般会計予算: 185億7,690万円)



食費 257万円/年  
(25億7,400万円)



光熱費 307万円/年  
(30億7,100万円)



家や家具の修理代 14万円/年  
(1億4,100万円)



家の増改築 480万円/年  
(48億500万円)



事業の援助 184万円/年  
(18億400万円)



貯金残高(基金)  
835万円  
(83億5,360万円)9



借金残高(市債)  
2,061万円  
(206億1,365万円)

1. 国民保健事業 年間 394万円  
(39億4,400万円)
2. 介護保険事業 年間 439万円  
(43億9,900万円)
3. 介護サービス事業 年間 2万円  
(2,100万円)
4. 後期高齢者医療事業 年間 52万円  
(5億2,700万円)
5. 下水道事業 年間 49万円  
(4億9,800万円)

こんな仕事をしています  
特別会計とは、同じ財布で  
考えると整理等が難しくな  
ることから、別に分けて經  
理を行う内容を意味します。

## 一般質問

### 「ひとの駅さんぽんまつ駐車場への看板再設置」について

問 料金は、4時間までは無料、その後1時間100円、1日の上限は500円となっている。周知看板は設置されているが小さくて見えにくい。周知を目的としているのであればサイズや形状などについて再検討してはどうか。

答 通行や視界の妨げのないように配慮しながら3箇所設置している。今後もより分かりやすい看板になるよう、設置場所や文字の大きさ、形状を含めて検討していく必要があると考えている。

問 ターポリン素材等を使用して周知を目的として臨時に設置する等も効果的と思うがどうか。

答 継続的な看板が望ましいと考えているが、イベント時などPRという意味でも検討の1つとしたい。

### 「信号番号設置」について

問 市をはじめ、市内にある民間施設も、案内マップを作成し集客に向けた活動をしている。ランドマークが近くにあれば〇〇横の信号を左折、またランドマークがない場合は6つ目の信号を右折という感じで説明も入っている。しかしながら市外、海外の方は地図上の表記が分からず道に迷うケースもあると聞く。最近ナビアプリも充実してきたが、操作が苦手な女性の方から、生活圏以外の道はナビアプリでもわかりにくいという意見もある。

そこで国道、県道上にある信号に信号番号設置を設置することを次の理由から提案する。

まず第一に、信号番号があることで、どの交差点で曲がるかといった確認が簡単になる。また説明も容易になるため、市外、県外からの訪問者に対して道に迷う機会が減少すると考えられる。

次に事故や災害にあった場合、自分の現在地の説明が容易に行える。外国人の場合、場所だけではなく言葉の壁も存在する。このような時に信号番号が設置してあれば、言葉が堪能でなくとも周囲のシグナルナンバーを伝えることでスムーズな対応が可能になると思われる。

最後に、この事業については既に成田市でも導入されているなど、単独自治体での導入実績があることがあげられる。

答 分かりやすい案内は、今後、ますます重要になってくる。交差点の場所を算用数字で案内することは、外国人だけでなく、日本人にも一目でわかりやすい表示である。観光面だけでなく、事故や災害時など、緊急時の案内においても効果的な表示であると考える。

設置については管轄する警察との協議が必要になると思われる。こうした状況を踏まえ、全国の事例を参考にし、交流人口や関係人口を増やすための環境整備を行って行くことが必要と考える。

問 その協議の中に観光協会を入れるべきではないか。同じ予算を使うのであれば、担当所管同士の協議だけでなく、観光的な目線も入れるべきと考えるが。

答 観光的な目線は非常に重要な為、検討に際して観光協会の意見を取り入れたいと考える。

## 議案について

全体で30議案ならびに議員からの発議2件が採決されました。主な内容は補正予算、来年度の当初予算、条例改正になります。3月議会は4月からの法律改正もあり、それに合した条例改正が多く提出されます。通常であれば新年度に向けた新規事業などが出てくる予算ですが、今回は市長が勇退することもあり、継続事業、すでに新規事業実施として今年度決まっていたもの、国・県の補助で行う事業に限定されており、新しい事業については、市長交代後の議会で提出される予定となっています。(この状態で約185億円が計上されています)

議案の中で注目するものとして「地域公共交通活性化協議会」が設置されたことです。長年地域の方の要望でもあった公共交通について、地域公共交通網形成計画策定が新年度策定されることになりました。それを協議するのがこの協議会となります。どのような形になるのかは今後の協議会の話し合いになりますが、まずは一步前進した形となりました。

